

発達障がい児の現状を問う

答 早期発見や支援に専門士で対応している

問 近年、発達障がい児に対する認識や診断等により、全国では通級指導が9万人を超えるデータもある。本町における支援はどのようになって

いるか。

民生部長 保護者を訪問し別の相談機関や医療機関につなげ、ゆいな園への通園など全員をフォローする体制をとって支援している。

問 子どもの特性に合わせて適切な接し方ができる。ペアレントプログラムを導入してはどうか。

民生部長 保護者の方の子どもへの対応の仕方、ペアレント

プログラムの内容と似たような形で取り組みを行っている。そういったスキルを持っている作業療法士の方がゆいな園や、小学校、幼稚園、保育所に取り組みを進めている。

問 発達障がい児に対する学習支援員は足りているか。

学校教育課長 適切に配置されている。

児童館運営を問う

問 本町の4つの児童館利用者はどれくらいか。

副町長 平成29年度のべ5万3606人となる。

問 子育て支援に十分な役割を担っている児童館を充実させるべきではないか。

民生部長 今後の児童館を充実させ、地域の子どもの居場所になれるよう指定管理による運営も視野に入れて検討している。



浦崎 みゆき 議員

町民に分かりやすい相談窓口を

問 住環境課にくらしの相談窓口の掲示ができないか。

総務部長 庁舎の案内については今後検討していく。

問 専用電話#9110は犯罪や事故の発生には至らないが生活の安全が脅かされている等に活用できる。町の情報はどうか。

総務部長 区長会に警察も来て情報共有している。



児童館で行われたサイエンスショー